

わあ、みずみずしい！

いのち みなぎる、福岡自然農園の果物



自然農法
農薬・化学肥料
防カビ剤・ワックス
不使用
皮ごと使えます

ただいま入荷中。今が旬です！

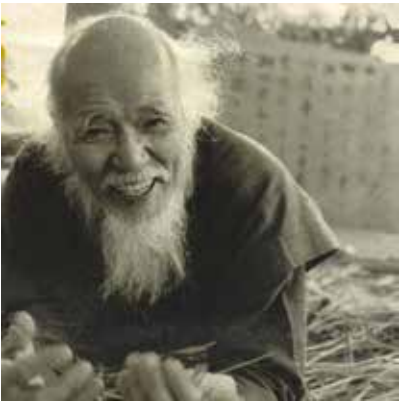


文旦 (52円/100gあたり)
宮内伊予柑 (49円/100gあたり)
大谷伊予柑 (49円/100gあたり)
八朔 (49円/100gあたり)
小林柑 (49円/100gあたり)
ネーブル (49円/100gあたり)
はるか蜜柑 (59円/100gあたり)
清見タンゴール (59円/100gあたり)
スイートスプリング (59円/100gあたり)

まほろばだより
No.4838 19-40 3/1



福岡正信自然農園（愛媛県伊予市）の様子。写真右、園主 福岡大樹さん（故・福岡正信氏の孫にあたる）。



福岡正信氏と、宮下周平（まほろば主人）。



故・福岡正信氏

1913年2月2日～2008年8月16日。

愛媛県伊予郡南山崎村（現伊予市）に生まれる。

現・岐阜大学応用生物科学部を卒業後、横浜税関の植物検査課に所属し、研究に没頭。しかしながら、急性肺炎にかかり死の淵をさまよったのを機に「この世には、何も無い」と悟る。

地元・愛媛県に戻り農を通じて自然と向き合いながら、「不耕起・無肥料・無除草」を特徴とする福岡正信流の自然農法の体現化を始めた。

また世界各国への歴訪を重ね、泥の中に植物の種子を入れて粘土団子状にする事により、砂漠化を抑制する取り組みで世界的な評価を受けるとともに、多くの書籍・詩・画を通じて「無」の境地の伝道に尽力した農哲学者である。

『わら一本の革命』

一福岡正信 著

自然農法のバイブルともいえる一冊。昭和47年に出版される。現在では、29カ国語以上の言語で翻訳され、様々な国の人々に影響を与えている。

